

第2回学校運営協議会レポート②

7月になり、各学校・学区の第2回目の学校運営協議会が本格的に開催されました。今号は、寺原小学校、永山中学校、取手東小学校、久賀小学校の4校の協議会の様子をレポートします。

夏休み中には、各公民館や自治会・町内会等で「夏まつり」や「盆踊り」が開催されます。いくつかの中学校では、生徒たちがそのお手伝いに入ったり、中には自分たちが考えた内容で一つのコーナーを担当したりする予定があります。できるだけそうしたイベントに参加し、中学生たちががんばっている様子をお伝えしていきたいと考えています。



寺原小学校

7月2日開催

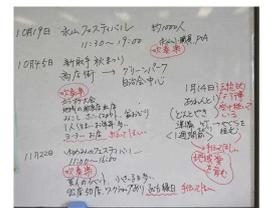


- 現状報告と授業参観
 - 教頭先生と教務主任より学習面・生活面・安全面・働き方改革についての現状と課題についての報告がありました。
 - それぞれの学年の授業を参観しました。参観後の感想の一つとして、集中して授業を受けている児童が多かったという意見がありました。
- 今年度の授業・行事等における保護者・地域人材との交流希望内容について
教頭先生から主に学校の教育活動に地域の方々の参加をお願いする「学校支援」についての説明がありました。各学年・特別支援学級等から参加やサポートをお願いしたい内容を一覧にまとめ、委員の方々に交流希望内容を伝えました。併せて協力要請をお願いしました。
- 熟議 テーマ 「100周年記念行事の地域への広げ方」
テーマについて、100周年記念行事は、保護者や地域とともに子供を中心に捉え、寺原地区全体で祝いたいという考えが示されました。3グループに分かれて協議し、話し合った内容を整理し、他のグループと共有しました。
- その他 来年度が100周年にあたるので、地域への情報の広げ方について今後も協議していくことを確認しました。



永山中学校

7月9日開催



- 会長挨拶では、他校のCSの取組から、地域住民が学校教育活動に参画していける取組について、校長挨拶では生徒の活躍について紹介されました。
- 授業参観
- 熟議 テーマ『地域学校協働活動の展開について～CSとの一体的推進を目指して～』
育てたい力と実践に向けてのアイデアについて熟議し、方向性を確定しました。
〈育てたい力〉コミュニケーション、協力性、地域愛・郷土愛、自主性、運営の仕方、企画力、自己肯定感・有用感、達成感、自信等
〈具体的な活動内容案〉
A：地域行事への参加・準備・交流→新取手祭、永山フェスティバル、ゆめみのフェスティバル、あわんとり等における、吹奏楽部演奏、出店手伝い、ワークショップ、櫓準備等
B：永山公民館との連携→美術部の作品展示、広報の工夫
C：秋永祭でのイベント企画→PTA、CS共同企画
- まとめ 連携する際の担当窓口や運営側との調整が必須であり、CSコーディネーターを中心に進めていくことを確認しました。





取手東小学校

7月9日開催

1 アンケート報告

令和7年度第1回学校評価アンケートの報告がありました。教頭先生よりグランドデザインに記載されている数値目標を踏まえての話がありました。目標値より下回っている項目には何かしらのケアが必要であるとの認識を共有しました。

2 学びのサポートについて

コーディネーターが中心となり、教員（サポートを希望する項目と方法・時間）や6年生（話を聞きたい職業人）にアンケートを実施しました。その希望の中から、①読み聞かせ、はすでに実施済で、図書館との連携が今後も継続予定です。

3 熟議

上記を踏まえコーディネーターより②環境整備、③井野団地・小文間地区の盆踊り練習会やお祭りへの参加協力、④東小運動会・フェスティバルへの協力等のアイデアが提言されました。また、熟議の中でその他にも、⑤水害に対する避難訓練の協力、⑥公民館祭りへの参加協力、⑦おやすみどころでの高齢者との関わりの推進、⑧取手アト・ツェトとの連携、⑨サポートチームごとにチームの名前や絵を子供に応募する等の意見が出ました。いずれにしても取組に軽重を付け、各委員の情報交換を密にしながら、できる範囲で推進することと、この意見をもとに継続審議することにまとめられました。

4 授業参観がありました。落ちついて学習していました。



久賀小学校

7月10日開催



1 KOS（久賀小応援サポーター）による学習支援のお願い
学習支援や環境整備を行っている「KOS（地域ボランティア組織）」に、各学年で今年度お願いしたい支援内容が決まり、各学年主任から委員さん方に紹介しました。

1年生「凧あげ」 2年生「町たんけん」
3年生「凶工のくぎ打ち」 5年生「稲刈り」 など
今後KOSの皆さんに協力を呼びかけていくこととなります。

2 熟議：テーマ「防災教育の推進に向けて、子供と地域の防災意識を高めよう」

過去の経験を踏まえ、久賀小と地域の大きな課題となる「防災」。久賀小CSでは3回目となる、防災に関する協議では、まずコーディネーターから学校で行われている活動の例、学区内地域で行われている活動の例、さらに児童と保護者へのアンケート調査の結果が伝えられました。その上で、「地域でできること」「家庭でできること」「学校でできること」の3つの視点で実際の活動について熟議を行いました。地域住民、保護者といった委員さんのそれぞれのお立場と、この3つの視点をマッチングしてグループを編制したのは、とてもよいアイデアでした。

熟議を通して、

地域：自主防災組織所有の防災備品等を実際に子供たちに紹介し、理解を深めさせる

家庭：水害に関する児童向けアンケートを実施し、それをもとにしたチェックリストを作成し、各家庭に持ち帰って親子で確認する

学校：熱中症対策として薬剤師等から講義を受けること、隣接する久賀保育所園児や久賀公民館利用者の水害時の校舎3階への避難訓練 などの案が出されました。

